

# みら

第 21 号

(2026年3月1日発行)

安城保護区保護司会

発行責任者 杉浦 博之

編集

安城市社会福祉課内  
安城保護区保護司会  
総務部会

## 新会長として

安城保護区保護司会会長 杉浦 博之



今年度から前石川誠会長の後を受け、会長に就任させていただきました。

まずは、長年にわたり本会の運営と地域の更生保護活動にご尽力いただいた前会長に深く敬意を表すると

共に、これまでのご功績に感謝申し上げます。前会長に比べ、誠に微力な私ではございますが、皆様のお力添えを賜りながら、共に歩みを進めてまいりたいと思います。

古より「愚公、山を移す」と申しますように、たとえ一人の力が小さくとも、皆様方の協力があれば困難も乗り越えられると信じて活動を進めてまいります。

さて、会長を拝命して以来、早くも1年が過ぎようとしております。この間、諸先輩方のご指導、

会員の皆様の温かいご支援に支えられながら、何とか責務を続けさせていただきました。本保護司会の活動は、中心となって活躍いただいた総務・研修・犯罪予防・育成指導の4つの部会及び8中学校区の地区活動に支えられています。今年度も「社会を明るくする運動」をはじめ様々な活動を計画・実践して素晴らしい実績を築いていただきました。

昨今の社会情勢の変化に伴い保護司の活動も多様化しておりますが、私たち一人ひとりの真摯な取り組みが、更生保護の実効性を高める礎となります。また、地域の方々の協力も欠くことのできない大切な要素です。今後も、会員相互の連携強化を一層進めるとともに、地域に根ざした活動を推進してまいりたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

## 誰一人取り残さない共生社会の実現にむけて

名古屋保護観察所 保護観察官 菊池 静香



日頃から対象者への処遇や地域活動に御尽力いただき、誠にありがとうございます。安城保護区の保護司活動への熱心さや温かさに、いつも救われており、安城の担当になって良かったと

感じる日々です。

さて、今年度は昨年度に比べ、少年事件の係属数が多くなっており、保護司・関係機関の皆様にはご負担をおかけしております。特に少年は、家庭内の問題から非行に至ることが多く、少年だけでなく家族への働きかけが重要になっていきます。

家族への支援は、更生保護の目的からは離れるかもしれませんが、地域の関わりが薄れている社会のなかで、地域活動を通して、家族の関係性を改善することは、少年の更生や健全な成育のためには必要だと思えます。

難しい問題ですが、安城保護司会、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会等関係機関のご協力があれば、更生保護行政の組織理念にもある「誰一人取り残さない共生社会」の実現ができると考えております。

これからも安全・安心な地域社会の実現のために、一層努力してまいりますので、今後とも更生保護へのご理解とご協力をいただけますと幸いです。

# 第75回を迎えた社会を明るくする運動 犯罪予防部会 部会長 深田 真史

第75回を迎えた社会を明るくする運動(社明運動)は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更生(立ち直り)を支援する全国的な運動です。強調月間初日7月1日に、安城市推進委員会と安祥中学区関係者合同の街頭啓発を安城コロナワールドで行いました。同日、他の各中学校区でも啓発活動を展開し、地元の方々を含む148名が市内各所で運動の主旨を伝えました。

また、7月中に8学区10会場で社明運動の「ミニ集会」を開催し、総勢480名の方々にご参加いただき、多

くの皆さんと話し合いができました。

11月22日には、社明運動の標語・作文表彰式をアンフォーレで開催しました。表彰式に先立ち安城警察署住田警部補から「スマホの危険性」について講演をいただき、小中学生の受賞者たちがうなずきながら真剣に聞いている様子が印象的でした。

標語・作文の応募数や作品内容からも安城市に、社明運動の主旨が浸透しつつあるように感じています。



ミニ集会



記念講演



作文受賞者



標語受賞者

## 標語・作文コンテスト入賞作品(安城市標語・作文コンテスト)

小中学生の部

**標語の部** 【応募数:3,425点(小学生2,445点、中学生980点)】

最優秀賞

「守ろうね、自分の未来、相手の未来」  
「見逃すな あの子の涙の SOS」

山田 葵 (安城北部小学校6年)  
小笠原夕夏 (安城中部小学校6年)

優秀賞

「監視より 笑顔を街で 守りたい」  
「ありがとう 言った自分も いい気持ち」  
「嫌だっ!!て 断る勇気 大事だよ。」  
「考えよう 相手の気持ち 大切に」

大庭 愛禾 (作野小学校6年)  
土井 花奏 (今池小学校4年)  
板倉虎之助 (安城北部小学校5年)  
松原 恵人 (安城北中学校2年)

入選

石黒 輝士 (梨の里小学校6年)  
宮部 桃 (里町小学校5年)  
相原 優愛 (安祥中学校2年)

小島 瑠夏 (里町小学校6年)  
眞鍋 香衣 (三河安城小学校6年)  
二宮 綾香 (二本木小学校6年)

**作文の部** 【応募数:310点】

最優秀賞

「助けてくれた優しさを、ほくも届けたい」  
「あいさつで人とのつながりを作る」

近藤 達葵 (祥南小学校6年)  
山下 陽真 (二本木小学校6年)

優秀賞

「みんなの心の中」  
「それぞれのチャンピオンロード」  
「未来に向けてできること」  
「明るい未来のために」

花澤 善 (今池小学校6年)  
鈴村 叶登 (東山中学校1年)  
山内 虹歩 (作野小学校6年)  
石川 紗菜 (桜井小学校6年)

入選

小橋 司 (作野小学校6年)  
西村美乃里 (桜井小学校6年)  
大村凜太郎 (錦町小学校6年)

比嘉 優月 (作野小学校6年)  
清水 悠光 (里町小学校6年)  
非公開 (錦町小学校6年)

**標語の部** 【応募数:37点】

最優秀賞

「ありがとう地域みんなの見守る目」  
「よく考えて あなたの行動 その言葉」

寺澤ゆかり  
野村 亜希

優秀賞

「今日お互い ニコニコ声がけ 近所でお付き合い」  
「この子らに未来を託す見守り下校」  
「あたたかく 自力更生 見守ろう!」  
「非行は迷路。みんなで探そう、輝く出口。」

天野 智次  
山口 順子  
早川喜久美  
權藤 涼

入選

磯村 千雅  
上村裕美子  
安井 満録

山田 絹代  
山本 清楓  
非公開1名

一般の部

## 更生保護関係団体の活動紹介

### 楽しい活動を目指して

安城市更生保護女性会 会長 船尾 恭代

安城市更生保護女性会は、「更生保護」「非行防止」「子育て支援」の三つの目標をもって活動をしている更生保護活動協力ボランティア団体です。

これまで、コロナ禍で様々な活動が制限されていましたが、かなり復活できています。昨年度の会員研修では、名古屋地方裁判所、市政資料館などに行くことができました。

名古屋地方裁判所では、実際の法廷で裁判制度について学ぶことができ、名古屋市政資料館(国の重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」)では、昔のステンドグラスと大理石の重厚な建物の中で、当時の法廷や法服などを興味深く見学しました。

また、毎年、岡崎自啓会を慰問したり、安城市福祉まつりで、みたらし団子3,000個を販売したりして会員相互の親睦を深めています。

今年度は、会員手作りのマスコットストラップ1,100個

を、11の保育園・こども園に届けることができました。この訪問活動を通して地域の人たちが、「子供たちの幸せ」を願っていることを伝えられるといいなと思っています。

これからも目標達成のため工夫しながら、楽しい活動を続けていきたいと思えます。



市政資料館見学



安城市福祉まつり

### BBS活動を振り返って

安城市BBS会 安達 誠二

BBS会に入会してから早10年が経ちました。休会の状態から、保護司会会長や市議会議員の方が、何とかBBS会を復活させようとして設立したのが、平成27年9月でした。私は、BBS会のことは全く知りませんでした。知り合いの方のご縁で入会させて頂くことになり10名程度での再出発でした。

BBS活動とは、非行に陥ってしまった少年に寄り添い、社会とのつながりを作っていく素晴らしい活動です。

現在では、清掃ボランティアへの参加、グループワークによる更生保護団体同士の交流、社会を明るくする運動への参加や、この会を紹介する広報活動などを行っています。

課題は、新会員の加入がないことです。この会が再開

してからの10年間、実際に少年と関わる「ともだち活動」を行うことが無く、若い世代の方にBBS活動の魅力を伝える機会や経験がありませんでした。

この会の活動を若い世代に継ぐ為にも、維持していかなければと考えていたところ、最近になって初めて「ともだち活動」として、会員が少年への学習支援を行う機会がありました。

今後は、若い方に入会してもらえるようにBBS活動の魅力を伝えていきたいと思えます。



交流会

### 雇用で罪や非行をした人の社会復帰を支える

安城保護区協力雇用主会 会長 鈴木 浩

現在、安城保護区協力雇用主会には市内41の事業者が会員登録しており、その業種は建設業、製造業、飲食業など多岐にわたっております。平成23年の設立以来、多くの方々にご理解いただき、今日まで活動を継続してまいりました。

昨年度は、県内研修として名古屋地方裁判所を視察し、実際に裁判を傍聴いたしました。被告から発せられる声や立ち居振る舞いを直接見聞きし、わずかな時間ではありましたが、その人の生い立ちや人生について考えることができました。この研修を通じて、犯罪や非行に及んだ人々を雇用する協力雇用主会として、改めて彼らの置かれていた境遇を認識し、相手に寄り添う姿勢の大切さを学ぶことができ、大変良い機会となりました。

また、直近では2つの事業者が対象者と面接を行いました。引き続き協力雇用主として、もう一度社会に復帰したいと願う対象者に真摯に向き合ってもらいたいと考えております。

安城保護区協力雇用主会は、これからも、罪を犯した人々の社会復帰を「就労・雇用」という観点から温かい気持ちで支えていけるよう、努力してまいります。



裁判所

## 保護司会各部署の活動報告

### 和太鼓響く国児学園への県外研修

研修部会 大岡 綾子

体育館に和太鼓の演奏が響き、十数人の小中学生の児童が目の前で力強く演奏してくれます。

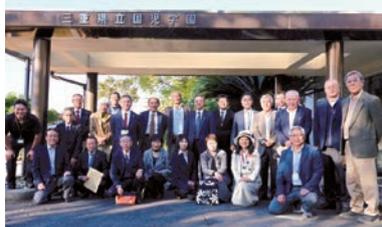
ここは、三重県立国児学園、小中学校の分校として位置づけられた児童自立支援施設です。大きな木立に囲まれ、芝生の運動場の周りに、体育館、教室棟、焼き物の窯、男子寮2棟と女子寮1棟の3つの寮があります。

ここで暮らすのは、家庭で虐待を受けたり、精神障害を持っていたりして、非行を犯した過去を持ち、他の児童養護施設や里親制度では対応が難しい児童が入所

しています。

それぞれの寮には、児童5名程が、職員である実夫婦とその子どもたちと一緒に生活しています。このような形態を『小舎夫婦制』と言い、ひとつの家族のように暮らしながら、入所児童に支援を行っています。日々の授業は敷地内の教室で、本校から通う先生の指導によって行われています。

穏やかに話す3組の寮長は皆40代と思われ、もう20年もここで過ごしていると言われます。大変な苦勞をされて来ただろうと思います。



国児学園玄関にて



国児学園園庭



和太鼓演奏

### ステップアップ研修会に参加して

研修部会 黒柳みゆき

研修部会では、11月21日に今年度2回目のステップアップ研修会を開催しました。

初めに多くの保護観察対象者を担当した3名の保護司の体験談を聞きました。「薬物使用の対象者宅への訪問は難しい」「少年少女は、面接の約束を守らないことが多い」「妊娠した対象者には、病院に行く都度付き添った」など、たくさんの体験談を聞くことができました。

まだ1人しか担当していない私は、対象者によって様々なケースがあることを実感しました。

次に、3グループに分かれ討議をしました。「経験の多い保護司の苦勞話は気づきが多い」「失敗から学んで次に生かしたい」「対象者をよく見ることが大切である」など活発に意見が出されました。参加した保護司の具体的な話を聞くことができ、とても有意義な研修となりました。



ステップアップ研修会

### 中学校区ごとのミニ集会

犯罪予防部会 部会長 深田 真史

ミニ集会は、7月の「社会を明るくする運動」強調月間中に8学区10会場で開催しています。各中学校区で開催するのは、地域に根差した活動を行うために安城保護区保護司会で以前から行っている開催方法です。

参加者は、町内会、学校関係、市議会議員、更生保護関係団体及び一般の皆さんで、全10会場で480名と多くの参加をいただきました。

各学区とも地域の特色を生かしたテーマを設定し、薬物乱用防止ミニ講話、グループ討論等で体験談を交えて議論することで、市民の皆さんが更生保護を身近な問題として捉えていただけたと思います。

今後もこの地域に根ざしたミニ集会继续して「社会を明るくする運動」の啓発に努めていきます。

#### 【令和7年度(ミニ集会)活動結果(全10会場)】

中学校区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	安城南	安城南(赤松地区)	安城北	東山	安城西	篠目	安祥	明祥(薬物乱用防止教室)	明祥	桜井
日時	7月12日(土) 18時~20時	7月5日(土) 14時~16時半	7月15日(火) 13時半~15時	7月11日(金) 13時半~15時	7月5日(土) 16時~17時半	7月13日(日) 10時~11時半	7月12日(土) 17時~18時半	7月10日(木) 10時40分~11時40分	7月5日(土) 10時~12時	7月12日(土) 13時半~15時15分
会場	末広町内会事務所	JAあいち中央生活館	安城中部小学校	北部公民館 かきたホール	箕輪公民館 新館ホール	二本木地区 コミュニティセンター	古井町公民館	明祥中体育館	和泉町公民館	鹿乗公民館
参加者数	35人	43人	23人	50人	30人	23人	23人	中学生等170人	45人	38人

## 育成指導部会の活動について

育成指導部会 部会長 稲垣美保子

育成指導部会は、更生保護関係団体である更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会との協力関係の向上を図るために連携・交流を行っています。

今年度は、9月に協力雇用主会と合同で愛知県就労支援事業者機構の井坂事務局長をお招きし「就労支援事業者機構の取組」について講演をいただきました。そこでは、再び刑務所に入所した者の約7割は再犯時に無職であり、安定した職を得ることが立ち直りに欠かせないと話されました。

11月にはBBS会との交流会を行い、「ボッチャ」を通して楽しく親睦を深めることができました。

12月の更生保護女性会との合同研修会では、名古屋保護観察所の西野統括保護観察官に「更生保護の

現状と民間協力者との協働」について講演をいただきました。お礼のあいさつで更生保護女性会の船尾会長は「私たちも世の中の変革に、アップデートしながらついていかなければなりません」との心強いお言葉がありました。



合同研修

## 薬物乱用防止指導員の活動

薬物乱用防止指導員 代表 安藤 義美

### ▶「薬物乱用のない社会」を目指して活動!◀

“薬物乱用はダメ!ゼツタイ!”この合言葉のもと、私たち指導員9名は、「6・23ヤングキャンペーン」を皮切りに「社会を明るくする運動」「安城七夕まつりヤングキャンペーン」「麻薬・覚せい剤・大麻乱用防止運動」などの街頭啓発活動、そして、中学校区ごとに行われたミニ集会での「薬物乱用防止ミニ講話」、明祥中学校での「薬物乱用防止教室」など出前講話にも力を入れて取り組みました。

近年、若者の間で「大麻の乱用」「オーバードーズ」が問題になっていることから、若者を対象に啓発活動を進めました。

### ▶衣浦東部保健所とのコラボ実施◀

昨年11月8日にJAまつりで実施した「麻薬・覚せい剤・

大麻乱用防止運動」では、衣浦東部保健所生活安全課の協力を得て、例年にも増して盛り上がりのある活動が展開できました。

### ▶指導員の能力向上にも努めました◀

指導員の能力向上を図るため、「薬物乱用防止指導員講習会」の受講、自主勉強会として名古屋保護観察所で行われる「薬物事犯者更生プログラム」について学びました。

今後の活動の中で活かしていきたいと思います。



JAまつりでの啓発

## 更生保護サポートセンターの役割

センター長 石川 充

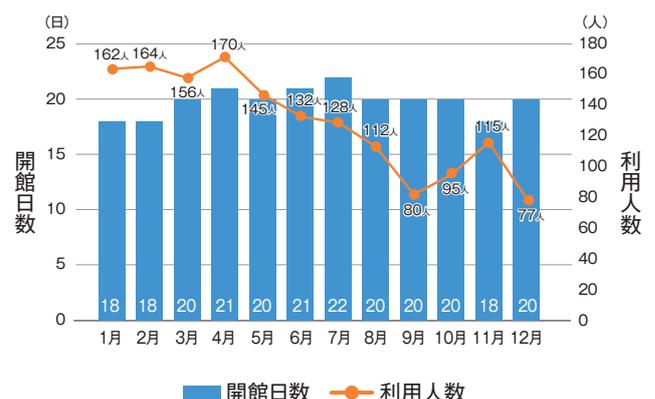
安城保護区保護司会の更生保護サポートセンター(以下「サポセン」)は、平成25年9月26日に県下6番目のサポセンとして開設し、以来12年が経過しました。本年度も、平日の午前9時から正午、午後1時から午後4時まで開館をしています。

主な利用状況は次のとおりです。

- 保護観察対象者との面接
- 保護司会の部会・地域処遇活動
- 保護司会の事務処理
- 関係団体(更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会、警察署等)との協議

今後とも、保護司会を始めとする更生保護団体の活動の円滑化、活性化などを目指して、サポセン当番担当者である企画調整保護司による定例会議を毎月開催し、より利用しやすいサポセンを目指していきます。

【令和7年サポセン利用状況】





令和7年度

# 荣誉に輝いた方々



## 愛知県更生保護大会 (令和7年11月14日)

法務大臣表彰  
 全国保護司連盟理事長表彰  
 中部地方更生保護委員会委員長表彰  
 中部地方更生保護連盟会長表彰  
 名古屋保護観察所長表彰

名古屋保護観察所長感謝状 (家族功労)  
 愛知県保護司会連合会長表彰

三浦 正喜	狩野多喜子		
須藤 房美	杉浦 貴己		
塚本 和彦	水野 義孝		
江坂 慎也	山本 典子	杉浦 清治	横山佐喜郎
宇佐美成美	大岡 綾子	大見 健治	神谷 智美
杉浦 資典	鈴木 一		
三浦 宏枝			
赤川ルミ子	石川 充	榊原 重幸	白谷 隆子
松田このみ			

## 安城市発展祭 (令和7年5月9日)

一般功労者

稲垣 正義

(敬称略・順不同)

## 退任・新任保護司紹介(令和7年度)

(敬称略・順不同)

### 退任に寄せて

### 感謝

篠目中学校区 保護司 杉浦きみよ



平成11年5月25日から保護司として対象者と向き合い、立ち直りに協力させていただきました。この26年間は、私にとって全てが初めての出来事であり、不安な状況からの始まりでした。

観察所の新任研修の時にはすでに対象者を担当し、その後1名増えて毎週日曜日に面接を行いました。最初の頃は、来訪往訪と毎月5日までの報告書提出など、私自身未熟者で反省の毎日でした。

保護司の期間中には、地域別定例研修、県外県内研修、社会を明るくする運動、学校関係、サポートセンター当番、更生保護関係3団体の活動調整など、全てに貴重な経験でした。

今後は、更生保護女性会でマスコットを作り、幼保こども園へ配布し、「社会を明るくする運動」のPRをしつつ、手作りのピーズを届ける活動を続けていこうかと思っています。26年間、安城保護司会の先生方に見守っていただいたことに感謝です。

### 新任に寄せて

### 社会を明るくするための関わり

安城南中学校区 保護司 小笠原浩一



昨年5月に保護司の委嘱辞命をいただきました。

当初、保護司の役職が、果たして自分に務まるか大きな不安がありました。しかしながら対象者を複数で受け持つ体制があることを知り、多少の不安の解消につながりました。

実際に対象者を受け持った際の旧知のベテラン保護司の方からの面談、往訪のサポートは、とても心強く感じています。

様々な研修も行われ、ディスカッションで先輩保護司の経験や考え方、対応の仕方を学ぶ良い機会となっています。

週5日勤務ですので、どこまでできるのか不安は残るものの、先輩保護司の皆様のご指導、ご助言を頂きながら、微力ではありますが、明るい地域社会の実現に尽力してまいります。よろしくお願いたします。

お疲れ様でした

後藤喜久男 (安城南中学校区)  
 神谷 豊治 (安城西中学校区)  
 今井 隆喜 (安城北中学校区)

### よろしくお願いたします



神谷 健児 (安城西中学校区)



三輪 寿 (篠目中学校区)



大見 章夫 (安城北中学校区)

### 【編集後記】

「正義は勝つ」「悪が栄えた例はない」そんな風潮の中で育ってきた。いつの時代になっても、間違いのない言葉だろう◆年齢を重ねて時間に余裕ができ、昼間テレビの前にいることが増えた。番組表を見ると、再放送が目につく。何回目？と思うドラマも、どれも正義が勝ってハッピーエンド◆そんな中、保護司が登場すると、力が入る。ささやかな「正義の味方」で登場。あくまでも助演である。保護司の活動は、地味で主人公には向かないのだ。小さな存在ではあるけど、対象者のそばに寄り添い、心をほっとさせる「正義の味方」を演じていきたい。



◀ 会報「みち」のバックナンバー  
 10号分がご覧いただけます。

事務局 安城市役所 社会福祉課社会福祉係  
 安城市桜町18番23号 TEL0566-71-2262